

窒息の予防と対応

川口市立医療センター

救命救急センター

ふじ き ゆう
藤木 悠



窒息とは、食べ物などの異物が気道をふさいで呼吸ができなくなる緊急事態です。短時間でも命に関わる状態になるため、適切な知識と対応が重要です。

●窒息事故の現状

本市では、乳幼児の窒息による救急搬送が令和元年～6年の6年間で200件以上発生し、かんだり飲み込んだりすることが未熟な生後7～11カ月の乳児が最も危険とされています。また、高齢者は飲み込む力が弱くなることから、年末年始の頃には餅などの食品による事故が増加する傾向にあります。

●窒息のサイン

重度の気道閉塞では「声が出ない」「弱い咳」「呼吸の音が出ない」「顔が青紫色になる」といった症状が現れます。患者本人が喉をつかむ動作(チョークサイン)は特に深刻な危険信号です。

●応急処置

成人・小児…腹部突き上げ法(ハイムリック法)と背部叩打法を交互に実施

乳児…胸部突き上げ法と背部叩打法を1サイクルとして実施

※意識を失った場合は、直ちに救急車を呼び心臓マッサージを行いながら口の中の異物を除去する処置を繰り返します。

●予防策

日頃から飲み込みに問題がないかを観察し、食べ物を細かく刻んだり、ペースト状やゼリー状にするなど、形状を個人に合わせて調整することが大切です。また、適切な姿勢(上体を起こした角度)で食事を取ることで、誤嚥や窒息の危険を大幅に減らすことができます。

また、乳幼児の手の届く範囲には小さなおもちゃや硬貨を置かないなど、日常の配慮が命を守る予防策となります。



(参考) 日本医師会ホームページ

結核を正しく知るための6選

結核・呼吸器感染症予防週間 9月24日～30日



▶結核とはどんな病気？



結核とは結核菌により肺に炎症が起こる病気です。

▶どうやって感染するの？



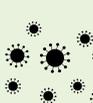
空気感染(飛沫核感染)です。咳やくしゃみにより、結核菌の混ざったしぶきが空気中に飛び散り、それを吸い込むことで感染します。

▶症状は？



2週間以上続く咳や痰、発熱、だるさ、食欲低下、体重減少、寝汗など。高齢者は、自覚症状が乏しいことが多く、発見が遅れやすいことが特徴です。

▶日本の重大な感染症



現在でも1日平均で28人のかたが感染し、5人のかたが命を落としています。(5月用結核予防会 結核の常識 2024)

▶川口市の現状は？(人口10万人比)



▶年1回胸部レントゲン検査で早期発見！



年に1回は結核検診を受診しましょう。65歳以上のかたは、感染症法施行令により、年に1回、受診する義務があります。

肺がん・結核検診(川口市の検診)

70歳以上 無料	40～69歳 500円
-------------	----------------

受診期間は毎年6月～翌年2月末
対象のかたには「がん検診などの受診券」(はがき)を送付しています。詳細は市ホームページをご確認いただくか、健康増進課(048-256-1135)へお問い合わせください。

問 疾病対策課 ☎048-423-6726 FAX 048-423-8852

川口市の 官民連携地域情報ウェブサイト



TRIC Kawaguchi とは
川口のお店やイベントなどさまざまな情報を掲載しています！



川口市 広報課 職員による
ちょっとだけ！ 市政情報番組

85.6 MHz City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日：平日の10分間…10:00、13:50、17:50、20:00

ワンポイント 手話講座

11月に東京2025デフリンピックが開催されます。今月は開催にちなんで「がんばれ」「陸上」を紹介します。

がんばれ

両手で拳を作り2回下におろします。



陸上

手の甲を上にし、両手で陸上トラックのカーブを表します。



問 障害福祉課 ☎048-259-7926 FAX 048-259-7943



教わる児童は教える先生に

『夏休み子どもサロン』を開催する
朝日東公民館地区社会福祉協議会の皆さん

子どもたちに楽しい夏休みの思い出を作ってもらいたいと毎年開催している『夏休み子どもサロン』。宿題のサポートやレクリエーションの企画、昼食の無償提供など、今年は全8回実施した。このサロンを運営しているのが朝日東公民館地区社協の皆さんだ。

「男塾」で料理の腕を磨くうちに、「自分で作った料理や打つたそばを誰かに食べてもらいたい」と思うようになり、公民館で誰でも気軽にコーヒーを飲んだり、世代に関係なく地域のかたが交流できる『珈カフェ』を開き自慢の料理を振る舞うなど、地域のかたに親しまれている。こうした中、暑い日には公民館の目の前にある朝日東小学校の子どもたちが涼みに来るなど、自然と子どもとも大人、公民館のつながりが深まり、関係性を築いてきたことがサロンの始めるきっかけとなった。

サロンには60人近いボランティアがスタッフとして携わり、宿題のサポートは中学生から大学生などが多く担当していることも大きな特徴だ。「小学生のときにサロンに参加して、大学生になった今でも『総長』になる日がくるのかもしれない。(誠)



左から『学長』片貝 勝さん
『顧問』星 隆夫さん
『総長』平柳 清さん
『料理長代理』奥山 純さん